

● 同じ領域の単元を同じ時期に指導する

学年相互の交流や学び合いを促す 算数科の指導の工夫

飛び複式学級における算数科の実践より

第1学年「かたちづくり」

第3学年「三角形」

同じ領域の単元を同じ時期に指導するよさは？

複式学級では…

- ・ 単学年では人数が少ない→学習の広がりや深まりに課題
- ・ 学年ごとに学習する内容や目標が異なる
→直接指導や間接指導による学習形態の工夫が必要

共通の学習場面を多く設定できます

- 間接指導が減ることにより、一人一人に対して丁寧な指導が可能
- 2学年での対話的な学びにより、多様な見方や考え方に触れることが可能

同じ領域の単元を同じ時期に指導するためには？

① 同じ領域を見つける

② 単元のねらいや学習内容を確認する

③ 共通に指導できる学習活動を計画する

小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説「算数編」「第 2 節 算数科の内容」 「2 各領域の内容の概観」等を参考に確認しましょう。

「B 図形」の内容の概観より

数学的な見方・考え方	・図形を構成する要素, それらの位置関係や図形間の関係などに着目して捉え, 根拠を基に筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること			
	図形の内容について理解し, その性質について考察すること	図形の構成の仕方について考察すること	図形の計量の仕方について考察すること	図形の性質を日常生活に生かすこと
第 1 学年	・形の特徴	・形作り・分解		・形 ・ものの位置
第 2 学年	・三角形, 四角形, 正方形, 長方形, 直角三角形 ・箱の形	・三角形, 四角形, 正方形, 長方形, 直角三角形 ・箱の形		・正方形, 長方形, 直角三角形
第 3 学年	・二等辺三角形, 正三角形 ・円, 球	・二等辺三角形, 正三角形 ・円		・二等辺三角形, 正三角形 ・円, 球
第 4 学年	・平行四辺形, ひし形, 台形 ・立方体, 直方体	・平行四辺形, ひし形, 台形 ・直方体の見取図, 展開図	・角の大きさ ・正方形, 長方形の求積	・平行四辺形, ひし形, 台形 ・立方体, 直方体 ・ものの位置の表し方

同じ領域の単元を同じ時期に指導するためには？

① 同じ領域を見つける

「B図形」の領域で見つけてみよう！

② 単元のねらいや学習内容を確認する

第1学年と第2学年なら・・・

(例)

1年「かたちづくり」
×
2年「三角形と四角形」

1年
「色板の動かし方を考えよう」
2年
「色板を並べていろいろな模様をつくろう」

第1学年と第3学年なら・・・

(例)

1年「かたちづくり」
×
3年「三角形」

1年
「棒を使って形づくりをしよう」
3年
「棒を使った三角形づくりをして、二等辺三角形・正三角形の仲間分けをしよう」

どの単元に
どんな学習活動が
あるかな？



飛び複式学級における算数科の実践

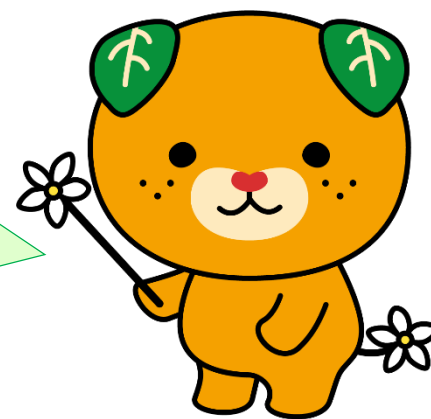
第1学年
「かたちづくり」



第3学年
「三角形」



1年生が1人、
3年生が3人…
学年が違って、
対話的な学習ができる
授業を目指そう！



● 実践例：第1学年「かたちづくり」× 第3学年「三角形」

① 同じ領域を見つける

「B図形」

② 単元のねらいや学習内容を確認する

③ 共通に指導できる学習活動を計画する

1年生と3年生で
意見交流が
できそうなのは…



第1学年「かたちづくり」

形づくりについて、色板や棒などを使って様々な形を作る活動を通して、図形を構成する力と観察する力を身に付けるとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。

主な学習活動

- ① 色板を使って形づくりをする。
- ② 棒を使って形づくりをする。
- ③ 点つなぎで形づくりをする。
- ④ 色板や棒を動かして、図形を変形させる。

第3学年「三角形」

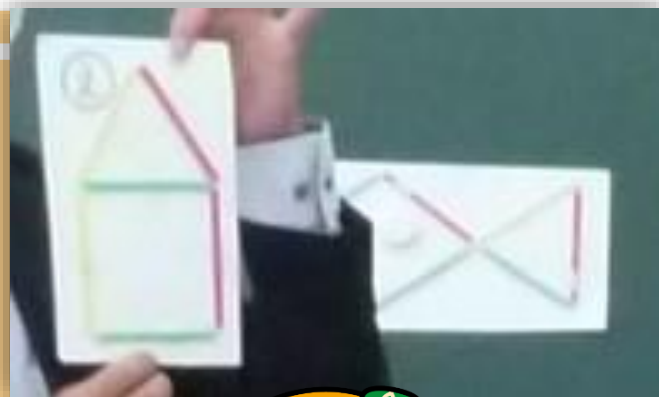
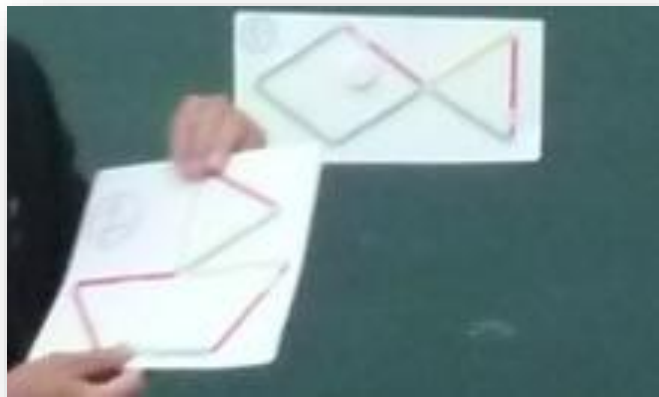
二等辺三角形や正三角形について、構成を通してその分類や意味を理解し、作図の方法や角の大きさを考えたり調べたりすることを通して、平面図形の性質やその見方・考え方を捉えさせるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

主な学習活動

- ① 棒を使った三角形づくりで単元の課題をつかむ。
辺の長さに着目して二等辺三角形・正三角形を仲間分けする。
- ② コンパスを使って、二等辺三角形・正三角形を作図する。
- ③ 円の半径に着目して、二等辺三角形・正三角形について説明する。
- ④ 色紙を使って、二等辺三角形・正三角形を作る。
- ⑤ 身の回りの二等辺三角形・正三角形を見つける。

① 導入

これは何かな？



魚！



ヨット！



家！

第1学年

第3学年

いろいろな形があるね

三角形があるね

いろいろな形をつくろう

いろいろな三角形をつくろう

I 課題把握

直接指導

II 解決努力①

1年：直接指導

3年：間接指導

III 解決努力②

1年：間接指導

3年：直接指導

IV 交流・習熟

直接指導

② 課題解決

いろいろな形をつくろう

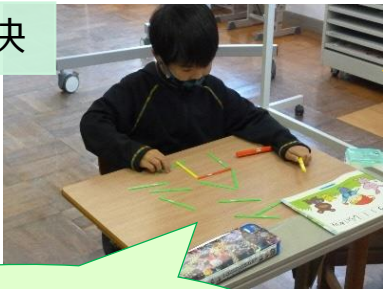
第1学年

まずは先生と一緒に



棒は何本かな？

自力解決



いろんな形ができたよ
3年生にも見せたいな

直接指導で方法と
着眼点を確認

それぞれへの援助

直接指導で着眼点と
用語を確認

いろいろな三角形をつくろう

第3学年

自力解決



三角形を仲間分けしよう

辺の長さに着目しよう



三角形には「二等辺三角形」と
「正三角形」があるんだね

I 課題把握

直接指導

II 解決努力①

1年：直接指導

3年：間接指導

III 解決努力②

1年：間接指導

3年：直接指導

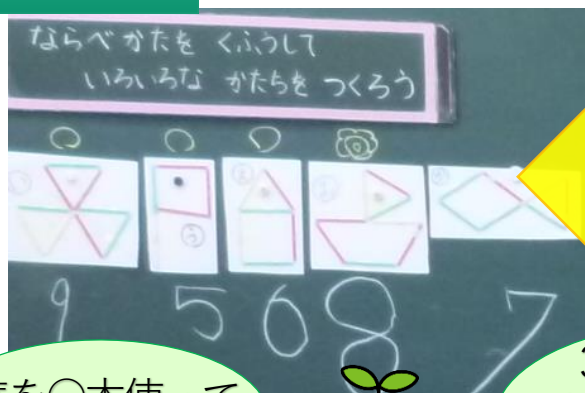
IV 交流・習熟

直接指導

③ 意見交流→振り返り

今日の学習で学んだことを伝え合おう

第1学年



棒を○本使って
作りました



3年生の三角に
ぼくがつくったのと
同じ三角があるね

意見交流を
コーディネート

1年生は、いろいろな形が
できているね

三角形を使った形が
たくさんあるよ

棒の長さが
同じだから
正三角形だね



第3学年

今日の学習を生かして、自分の力でチャレンジしよう

もっと別の形も
つくってみよう

分かったことを
まとめてみよう

練習問題を
やってみよう

教室の中に
この形はあるかな？

I 課題把握

直接指導

II 解決努力①

1年：直接指導

3年：間接指導

III 解決努力②

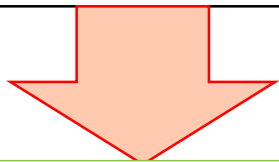
1年：間接指導

3年：直接指導

IV 交流・習熟

直接指導

- ✓ 各学年の直接指導では、着眼点を示すなど、それぞれのねらいをしっかりと押さえよう。
- ✓ 交流場面では、一人一人の発想を大切にするとともに、各学年の学習のねらいに沿った視点を踏まえて、伝え合いをコーディネートしよう。



効果的な交流場面を設定し、指導することで、子供が対話的な学びから自分の考えを広げたり、理解を深めたりすることが期待できます！

一方向的に発表するだけじゃ、
伝え合いにはならないぞ！



CHECK POINT !

☑ 学校や学級の実態(学年の組合せや児童数等)に応じて、カリキュラム・マネジメントをしよう。

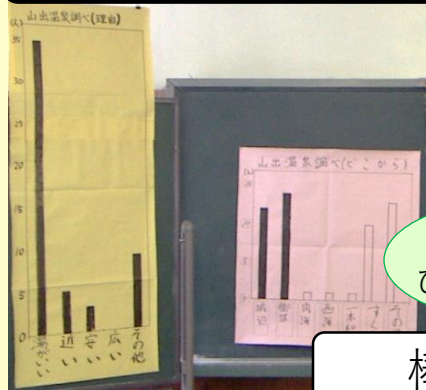
● 例: 第3学年「表とグラフ」× 第4学年「調べ方と整理の仕方」

地域の温泉について調べたね (〇〇温泉調べ)

共通で指導できる
学習活動を見つけよう

第3学年

棒グラフをつくろう



理由	どこから	年代
1 近い	城辺	60代以上
2 湯がいい	すくも	20代以下
3 湯がいい	すくも	20代以下
	(守和島)	
	内海辺	
7 湯がいい	御在所	60代以上
8 湯がいい	すくも	50代
9 湯がいい	すくも	60代以上
10 湯がいい	城辺	50代

第4学年

2つのことが分かる表をつくろう

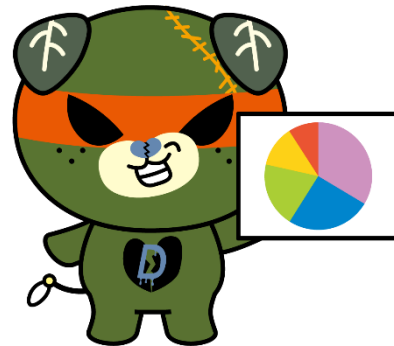
調べ方	人数
7	9
1	1
8	8
5	5
2	2
1	1
3	3
0	0
4	4
9	9
10	10
13	13

日頃からの
指導計画の見直しと
教材研究が大切!

どれが多いか
ひと目で分かるね

2つのことが
整理できるね

棒グラフと表、どちらにもよさがあるね



個々の状況なども考慮し、指導計画を見直して、指導に当たることで、より学習効果を高めることが期待できます!